

AXIS D3110 Mk II Connectivity Hub

センサーと音声の安全な統合

AXIS D3110 Mk IIは、センサー機能や音声機能を持たない、または追加で必要とするネットワークビデオシステムにこれらの機能を提供します。Axisのエンドツーエンドソリューションに最適な製品です。これは、システム内のアラームやイベントをトリガーするさまざまな非視覚的センサーに接続されます。マイクロフォンやスピーカー、またはその両方に接続することで、AXIS D3110 Mk IIは、高品質の音声を介してシーンの認識力を高めます。ACAP (AXIS Camera Application Platform) をサポートし、VAPIX®、MQTT、SIPを介したシームレスな統合を実現します。さらに、ハードウェアベースのサイバーセキュリティプラットフォーム、Axis Edge Vaultがデバイスを保護し、不正アクセスから機密情報を保護します。

- > 8つの状態監視付きコンフィギュレーションI/O
- > 音声入力ポート x2、音声出力ポート x1
- > VAPIX®、MQTT、SIPの統合
- > AXIS Audio Analyticsをインストール済み
- > 内蔵サイバーセキュリティ「Axis Edge Vault」



SIP



AXIS D3110 Mk II Connectivity Hub

システムオンチップ (SoC)

モデル
NXP i.MX 8M Nano

メモリー
1024 MB RAM、1024 MBフラッシュ

音声

機能
自動ゲインコントロール
音声入力用10バンドグラフィックイコライザー
ボイスエンハンサー

ストリーミング
双方向、全二重
単方向 - スピーカーのみ
単方向 - マイクのみ

入力
入力1: 外部マイクロフォン入力またはライン入力 (バランス型またはアンバランス型)、デジタル音声入力 (オプションで12Vリングパワー対応)
入力2: 外部マイクロフォン入力またはライン入力 (バランス型またはアンバランス型)
マイク電源5V (チップ)、ファントム電源12V (チップ/リング)、デジタル入力用リング電源12V (リング)

出力
ライン出力

エンコーディング
AAC-LC 8/16/32/48 kHz、G.711 PCM 8 kHz、G.726
ADPCM 8 kHz、Axis μ -law 16 kHz、Opus 8/16/48 kHz

音声管理

AXIS Audio Manager Edge

内蔵機能:
- 最大200台のスピーカーを20のゾーンに分割できるゾーン管理。
- 音楽およびライブ/事前録音されたアナウンスのコンテンツ管理。
- コンテンツをいつ、どこで再生するかを決定するスケジューリング。
- 緊急メッセージがスケジュールに割り込むようにするコンテンツの優先順位付け。
- システムエラーのリモート検知のための健全性監視。
- どの機能にどのユーザーがアクセスできるかを制御するユーザー管理。
詳細については、axis.com/products/axis-audio-manager-edge/supportのデータシートを参照してください

AXIS Audio Manager Center

AXIS Audio Manager Centerは、マルチサイトシステムのリモートアクセスと管理のためのクラウドサービスです。
仕様については、axis.com/products/axis-audio-manager-center/supportのデータシートを参照してください

I/Oインターフェース

設定可能I/O
アース付き6ピンコネクタ x2、12V (最大50 mA)、
設定可能な状態監視I/O x4

リレー
SPDTリレー x1、ターミナルブロック、最大1A、最大30V DC

RS485
RS485またはRS422 半二重/全二重、最大460.8 kbps

ネットワーク

ネットワークプロトコル
IPv4、IPv6 USGv6、ICMPv4/ICMPv6、HTTP、HTTPS¹、HTTP/2、TLS¹、QoS Layer 3 DiffServ、FTP、SFTP、CIFS/SMB、SMTP、mDNS (Bonjour)、UPnP[®]、SNMP v1/v2c/v3 (MIB-II)、DNS/DNSv6、DDNS、NTP、PTP、NTS、RTSP、RTP、SRTP/RTSPS、TCP、UDP、IGMPv1/v2/v3、RTCP、ICMP、DHCPv4/v6、ARP、SSH、LLDP、CDP、MQTT v3.1.1、Secure syslog (RFC 3164/5424、UDP/TCP/TLS)、Link-Local address (ZeroConf)

1. この製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Project (openssl.org) によって開発されたソフトウェアとEric Young (eyay@cryptsoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

システムインテグレーション

アプリケーションプログラミングインターフェース
VAPIX®、AXIS Camera Application Platform (ACAP) など、ソフトウェア統合のためのオープンAPI (仕様についてはaxis.com/developer-communityを参照)。
ワンクリックによるクラウド接続
Voice over IP (VoIP) システム、ピアツーピア、または SIP/PBXと統合するためのSession Initiation Protocol (SIP) のサポート。

イベント条件

音声：音声クリップ再生
音声分析機能：閾値以上の音声レベル、ガラス破損検知、悲鳴検知、叫び声検知
呼び出し:状態、状態変化
装置状態：動作温度範囲超過/動作温度範囲未満/動作温度範囲内、IPアドレスのブロック/削除、ライブストリーム有効、ネットワーク接続断絶、新規IPアドレス、リングパワー過電流保護、システムの準備完了
デジタル音声：デジタル信号にAxisメタデータが含まれている、デジタル信号のサンプリングレートが無効、デジタル信号がない、デジタル信号OK
エッジストレージ: 録画中、ストレージの中断、ストレージの健全性に関する問題を検出
I/O: デジタル入力アクティブ、デジタル出力アクティブ、手動トリガー、仮想入力アクティブ
MQTT: MQTTクライアント接続、ステートレススケジュールおよび繰り返し: スケジュール

イベントアクション

音声クリップ: 音声クリップの再生、ルール有効時の音声クリップの再生、音声クリップの再生停止
呼び出し：呼び出しへの応答、SIP呼び出しの終了、SIP呼び出し
I/O: I/Oを一度切り替え、ルールがアクティブな間にI/Oを切り替え
LED: ステータスLEDを点滅、ルールがアクティブな間にステータスLEDを点滅
MQTT: MQTT公開メッセージを送信
通知: HTTP、HTTPS、TCP、電子メール
録音: 音声を記録、ルールが有効な間に音声を録音
セキュリティ：設定の消去
SNMPトラップメッセージ: 送信、ルールがアクティブな間に送信

分析機能

AXIS Audio Analytics

機能: 適応音声検知、音声分類
音声分類：悲鳴、叫び声、ガラスが割れる音、話し声

認証

製品のマーキング

CSA、UL/cUL、CE、KC、VCCI、RCM

サプライチェーン TAA準拠

EMC

EN 55035、EN 55032 Class A、EN 50121-4、EN 50130-4、EN 61000-3-2、EN 61000-3-3、EN 61000-6-1、EN 61000-6-2、IEC 62236-4
オーストラリア/ニュージーランド:
RCM AS/NZS CISPR 32 Class A
カナダ: ICES(A)/NMB(A)
日本: VCCI Class A
韓国: KS C 9835、KS C 9832 Class A
米国: FCC Part 15 Subpart B Class A

安全性

CAN/CSA-C22.2 No62368-1、IEC/EN/UL 62368-1

環境

UL 2043 (プレナム定格)、IEC 60068-2-1、IEC 60068-2-2、IEC 60068-2-6、IEC 60068-2-14、IEC 60068-2-27、IEC 60068-2-64、IEC/EN 60529 IP30

ネットワーク

NIST SP500-267

サイバーセキュリティ

ETSI EN 303 645、BSI IT Security Label、FIPS 140

サイバーセキュリティ

エッジセキュリティ

ソフトウェア: 署名付きOS、総当たり攻撃による遅延からの保護、ダイジェスト認証、OAuth 2.0 RFC6749 クライアントクレデンシャルフロー/OpenID認証コードフローによるADFSアカウント一元管理、パスワード保護、Axis暗号モジュール (FIPS 140-2レベル1)
ハードウェア: Axis Edge Vaultサイバーセキュリティプラットフォーム
セキュアエレメント (CC EAL 6+、FIPS 140-3 Level 3)、システムオンチップセキュリティ (TEE)、Axis装置ID、セキュアキーストア、セキュアブート、暗号化ファイルシステム (AES-XTS-Plain64 256bit)

ネットワークセキュリティ

IEEE 802.1X (EAP-TLS、PEAP-MSCHAPv2)²、IEEE 802.1AR、HTTPS/HSTS²、TLS v1.2/v1.3²、Network Time Security (NTS)、X.509証明書PKI、ホストベースのファイアウォール

2. この製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Project (openssl.org) によって開発されたソフトウェアとEric Young (eyay@cryptosoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

文書化

AXIS OSハードニングガイド

Axis脆弱性管理ポリシー

Axisセキュリティ開発モデル

AXIS OSソフトウェア部品表 (SBOM)

ドキュメントをダウンロードするには、axis.com/support/cybersecurity/resourcesにアクセスしてください。

Axisのサイバーセキュリティのサポートの詳細については、axis.com/cybersecurityにアクセスしてください。

概要

ケーシング

IP30規格に準拠したアルミニウム製ケース
カラー：黒 NCS S 9000-N

取付

AXIS T91A03 DIN Clip A
取付ブラケット

電源

Power over Ethernet (PoE) IEEE 802.3af/802.3at Type 1
Class 3、標準3 W、最大9.53 W

または

10~28 V DC、標準3 W、最大9.0 W

コネクタ

音声: 3.5 mm入力×2、3.5 mm出力×1

データ転送: USB 2.0 タイプA×1、最大負荷500 mA、
対応USBクラス: HID, Audio, Audio/Video Devices

I/O: 6ピンターミナルブロック×2 (設定可能な状態監視I/O×4用)

I/O: リレー×1、ターミナルブロック

ネットワーク: シールド付きRJ45 10BASE-T/100BASE-TX PoE×1

電源: DC入力ターミナルブロック

シリアル通信: RS485/RS422、2個、2ポジション、全二重、ターミナルブロック

ストレージ

microSD/microSDHC/microSDXCカードに対応

SDカード暗号化に対応 (AES-XTS-Plain64 256bit)

NAS (Network Attached Storage) への録画

推奨されるSDカードとNASについては、axis.comを参照

動作温度

温度: -40 °C ~ 70 °C (-40 ° F ~ 158 ° F)

起動温度: -20 °C (-4 ° F)

湿度: 10~85% RH (結露不可)

保管条件

温度: -40 °C ~ 70 °C (-40 ° F ~ 158 ° F)

湿度: 5~95% RH (結露不可)

寸法

製品全体の寸法については、このデータシートの寸法図を参照してください。

重量

445 g (0.98 lb)

パッケージ内容

インストールガイド、接続ハブ、コネクタキット

オプションアクセサリ

AXIS T91A03 DIN Clip A、AXIS TD3901 Strain Relief

AXIS T8351 Mk II Microphone 3.5 mm、AXIS C8310

Volume Controller

AXIS Surveillance Card

その他のアクセサリについては、axis.com/products/axis-d3110-mkii#compatible-productsをご覧ください

言語

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語 (簡体字)、日本語、韓国語、ポルトガル語、ポーランド語、中国語 (繁体字)、オランダ語、チェコ語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、タイ語、ベトナム語

保証

5年保証、axis.com/warrantyを参照

製品番号

axis.com/products/axis-d3110-mkii#part-numbersで入手可能

サステナビリティ

物質管理

PVC不使用、BFR/CFR不使用 (JEDEC/ECA標準JS709に準拠)

RoHS、EU RoHS指令2011/65/EUおよび2015/863、規格EN IEC 63000:2018に準拠

REACH (EC) No 1907/2006に準拠。SCIP UUIDについては、echa.europa.euを参照

材料

OECDガイドラインに従って紛争鉱物について検査済み

Axisの持続可能性の詳細については、axis.com/about-axis/sustainabilityにアクセスしてください。

環境責任

axis.com/environmental-responsibility

Axis CommunicationsはUN Global Compactの署名企業です (詳細についてはunglobalcompact.orgを参照)

